

東日本大震災・救援ニュース No.1 (3月16日)

発行:東日本大震災救援対策本部(国民救援会中央本部)
電話03(5842)5842/FAX03(5842)5840/メール info@kyuenkai.org

救援対策本部を設置

3月11日、東北地方でマグニチュード9.0の国内最大規模の地震・津波や福島原発の事故などにより、甚大な被害が生じ、いまでも多くの被災者が避難生活を余儀なくされています。

被災されたみなさんに心よりのお見舞いを申し上げます。

国民救援会は15日に東日本大震災救援対策本部(本部長・鈴木亜英会長)を設置しました。

今後、この「ニュース」を通して、被災地の情報や救援にかかわることについてお知らせします。

東北地方や茨城など被災地の国民救援会県本部が会員の安否を確認しています。被害の大きかった宮城、福島、岩手などでは、連絡のとれない会員もあり、努力をつづけています。

救援募金にご協力を

救援対策本部として、被災された会員及び住民に対する救援募金を訴えます。救援募金へのご協力をお願いします。

◎救援募金の送金先◎

- ゆうちょ銀行(郵便局)
記号 10130
番号 87485881
口座名 日本国民救援会中央本部
- 中央労働金庫
支店名 本店営業部(店番号281)
普通 3583460
口座名 日本国民救援会中央本部
会長 鈴木亜英

〈現地からの声〉

事務所がメチャクチャに

宮城県本部・吉田広夫事務局長

(13日午後3時過ぎのメール)

ようやく事務所の電気がつきました。そのため携帯も充電できました。

釜、米、多少のおかずを持ち込み、炊きだしの準備を整えました。但し携帯、電話が通じなく、車のガソリンも少なくなっており、移動も極めて制限されているため、会員さんに連絡する術がありません。

気仙沼、志津川、石巻、仙台市若林区、名取、岩沼など町ぐるみ、地域ぐるみ、壊滅的な状況になっている地域には、少なからずの救援会員、守る会の会員がいます。通信手段もなく、交通も遮断されているため安全が確認できません。最大の心配です。極めて大きな余震も続いています。

事務所はめっちゃめっちゃになりましたが、昨日、なんとか現状復帰?に見えるような状態に。

今はテレビを見ながら、エアコンを入れて余震におびえながら片付けをしています。全国の被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。またメールします。お見舞いありがとうございました。

原発事故で多くの住民が避難

福島県本部・目黒常任委員

各支部の役員と連絡をとっています。

福島では原発の事故によって、南相馬市やいわき市などで、多くの住民が近隣の自治体に避難しています。公共の建物にくわえて個人宅にも避難しています。

福島市内では電気は通じていますが、水道は4分の1が止まっています。ガソリンも不足し、盗難がおきています。

食料なども必要ですが、放射能対策のためにヨウ素が大量に必要です。

☆☆☆ 全国から被災地への激励ファックス・メールを中央本部にお送りください。 ☆☆☆